

高濱正伸特別編集長号 今の時代に欲しい!「子育ての軸」

ウィズキッズ秋号

AERA Kids with

2020 秋号

定価998円

どうなっている?

オンライン教育の今

中学受験生が考えたい

「基礎学力」

安浪京子×西村則康

子育ての軸

今の時代に欲しい!



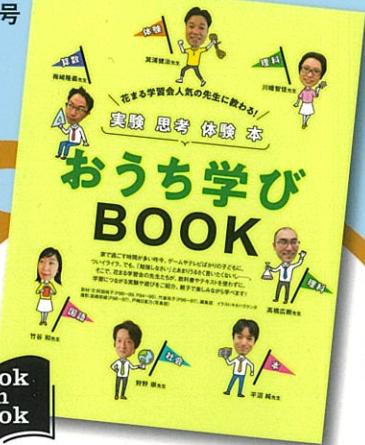
花まる学習会

無人島プロジェクト
始まります!



コミュニケーションがラクになる!

夫婦会話の"トリセツ"



Book
in
Book

楽しみながら頭が良くなる!

26の方法

しつけ
教育方針
学校選び
etc.

ヤフーCSO
『シン・ニホン』著者

安宅和人×高濱正伸
マシーン的な
人間を育てるな!

生涯にわたって生き方の指針ができるよう学ぶのが孔子の「論語」。自問自答プログラムでは、体験学習をメインに、なぜ?と問い合わせ立てて考える力、自分の考え方を伝えるプレゼンテーション力を身につけていくことを目指しています。体験学習の特徴は、近隣について知るをテーマに学校近くの手賀沼の環境・歴史を学ぶ、田んぼで田植えや稻刈りを体験する(中1)、自國を知るをテーマにした京都・奈良への研修旅行(中2)、世界を見るをテーマにしたシンガポール・マレーシアへの修学旅行(中3)と、体験する世界を段階的に広げ、無理なく視野・視点も広げていけるようになっている点にあります。



中1の自問自答プログラムで、学校近くの手賀沼を観察

二松学舎大学附属
柏中学校・
高等学校 共学
千葉県柏市大井2590
漢学者・三島中洲が明治10年に創設した漢学塾を前身とする伝統校。「仁愛・正義・誠実」を校訓とし、学力の向上と人間力の向上を教育の二本柱に、社会に役立つ真の国際人を育むことを目標に、社会に貢献する人材を育んでいます。

植えや稻刈りを体験する(中1)、自國を知るをテーマにした京都・奈良への研修旅行(中2)、世界を見るをテーマにしたシンガポール・マレーシアへの修学旅行(中3)と、体験する世界を段階的に広げ、無理なく視野・視点も広げていけるようになっている点にあります。

また日々の学校生活でも、自分に今足りない勉強を考えて学習する「365ノート」、SDGsをベースに題材を選んで、それについて考えを話す1分間スピーチ、各学期1回のパワーポイントやポスターを使つた発表など、自問自答力をつける場が用意されています。さらに学びの集大成として、中3で8千字の卒業論文執筆と7分間のプレゼンテーションに挑戦します。

自國と他国を正しく理解し、多様な価値観を認め、社会に役立つ真の国際人を育成することが、明治10年創設、今年創立143年を迎える同校の建学の理念。オンラインも活用しながら、論語教育や日々の学習を通じた自問自答プログラムで、国際社会に通用する人間力を育んでいます。



プログラミングを中心に学ぶ新しい教室「BIGIRION」



英国・イートン校が公式に来校し、本校の生徒と交流

静岡聖光学院中学校・高等学校 男子校
静岡県静岡市駿河区小鹿1440

ジェントルマンの育成が教育の方針。プログラミングのプレゼン入試「BIGIRION入試」、考える力、創造する力、表現する力を問う「21世紀型入試」もあり

未来が見えにくい時代だからこそ、様々な体験の場を用意し、自分を知る

通常授業と同様の学びができるよう、コロナ休校中は「ZOOM」による双方向型ライブ授業を実施してきた静岡聖光学院。休校中も料理を通じてジェンダー問題を考えることを目的に、レシピサービス会社クックパッドとのコラボの取り組みをオンラインで実施するなど、従来の学びを止めないことを重視しました。

当校の教育の軸は「Man for Others」。誰かのために活躍できるジエントルマンを育てたいというのが大きな目標です。それに、その交流で海外を知ると同時に、その視野をもつことが大事になります」と副教頭の田代正樹先生。

そのため用意しているのが放課後プログラムです。興味をもったことにはチャレンジできる場が数多くあることが、自分を知ることにつながることと田代先生は話します。

学校の個性がわかる! / 私立中高一貫校のオンライン授業と探究的学び

ICTの活用と課題解決型の探究的な学びは、これからの社会を生きる力の育成に欠かせません。コロナによる休校中の対応も含め、私立中高一貫校10校のそれぞれの取り組みを紹介します。

取材・文:八木沢由香 写真:各学校提供

オンラインはもちろん、「学校でしかできないこと」を大切に、生徒を育てる

グローバル化が進む国際社会で通用する真の国際人の育成を目的に、二松学舎柏では、早い時期からICT教育とアクティブラーニング型の授業を進めてきました。

8年前から「Classi」「スタディサプリ」「Google Classroom」などのラーニングアプリを入れたタブレットを一人に1台貸与し、5年前には各教室に電子黒板も導入。授業でも家庭学習でもオンラインを活用した学習スタイルが定着していたことで、コロナによる休校期間中も、双方型の会議システム「ZOOM」「Google Meet」をプラスするだけで、スマートに遠隔授業が実施できたといいます。

「ZOOM」でホームルームを行い、「Google Classroom」で時間割を確認して、「スタディサプリ」とユーチューブに配信された授業動画で勉強してから、課題やテストに取り組むというのが休校中の基本的な流れ。今後も、定期考査後の自宅学習でオンラインによる遠隔授業を実施するなど、オンラインのよいところは残して、普段の授業や家庭学習に組み込んでいく予定です。



休校期間中、教職員全員が出演のダンス動画を作成し、生徒たちを応援した

一方で島田達彦副校長は「オンライン機能が進化し、自宅でも授業や学習ができるようになりましたが、だからこそ、これからは学校でなければできないことがあります」と話します。たとえば共感力、思考力、判断力、主体的に人と協働する態度といった見えない力は、学校での友人や先生との触れ合い、学びがあるから必要になります」と話します。